

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院蔵)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乗院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

ひとくち法話

『諸行無常』

平成最後の年の瀬を迎えました。五月一日には新年号となりますので、平成最後のお正月ということにもなります。私たちは、時代の節目に立ち会うことになるのです。

あるテレビ番組をみておきますと、「おとなになるほど一年が過ぎるのが早く感じられるのはなぜか」という質問がありました。答えは「ときめきがなくなるから」というものでした。子供の時は、日々いろいろな事があるわけで、常に新しいイベントがあるわけです。子供たちに去年何があったかたずねると、あんな事があった、こんな事があったと次から次へと挙げていきます。

それに対しおとなは考えこんでしまいます。人生の大きなイベントがあれば別なのでしょうが、一年間で起きることは大体見通しがたち、日々の行動も決まってしまう、ときめくことなく暮らしてしまうからだと思います。確かにかつとあつという間に一年が過ぎていきます。

しかし「諸行無常」という言葉があるように一瞬として同じ時はありません。同じような毎日を繰り返していても、決して同じではないのです。確実に年齢を重ねていきますし、体の衰えを感じることもあるかもしれません。またテレビや本によって新しい知識を得たり、感動したり、人との出会いがあったりもするでしょう。良くも悪くも常に変化し続けているのです。

来年は新元号となり、時代の変化を実感できそうです。今年一年に思いをめぐらせ、感謝と反省をし、来る平成三十一年へ、また次の時代へ、希望をもって歩んでまいりましょう。

餘慶寺の鐘を撞き、除夜の鐘を奏でましょう。



餘慶寺 HP アドレス

<https://yokeiji.or.jp/>

餘慶寺のホームページが新しくなりました。

上寺山餘慶寺は、9月よりホームページを改良いたしましたので、お知らせいたします。

今回のリニューアルでは檀信徒、ご参拝者の皆様により見やすく便利に、またより餘慶寺を知ってもらえるように制作しております。

今回の改良にともないまして、一部ページのURLが変更になりましたので「お気に入り」などにご登録されている場合は、大変お手数ですが再登録をお願いいたします。

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日(於 薬師堂)

毎月8日 午前10時～
護摩供養をしています。

ご祈祷のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日(於 本堂)

毎月18日 午前8時～

みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお参りください。



毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺境内紹介

『マニ車』

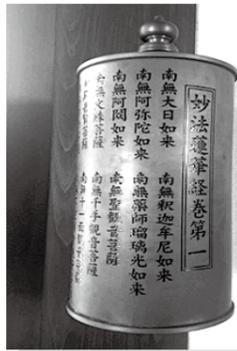
餘慶寺本堂の北側にある八角堂(報恩大師堂)の柱に円筒形の鑄物の筒が取り付けられています。これはマニ車(摩尼車)といい、主にチベット仏教で用いられる仏具で別名「転経器」とも訳されます。

チベット語では「マニコロ」と呼ばれ、「マニ」は如意宝珠、「コロ」はチャクラという意味があり側面に経文や佛名等が刻まれています。

内部には、巻物状の経文が納められており大きさは様々で、手に持てる大きさのものから、一つのマニ車の大きさが数メートルにもなるものがあります。

餘慶寺のマニ車は側面に餘慶寺に於ける諸佛、諸菩薩、神様の尊名が刻まれており、内部には天台宗の根本經典でもございます『妙法蓮華經』の經典を納めております。

マニ車を回すと回転させただけお経を唱えたのと同じ功德があり、是非餘慶寺にお参りの際には、八角堂のマニ車を回してお経の御利益を頂いてください。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館(十四時)

寺子屋写真館



今後の予定

☆「隅を照らす」

講師 明王院住職

十二月十六日(日)

☆「釈尊の生涯④ 釈尊の最後と教え」

講師 定光院副住職

一月二十日(日)

☆「落語公演」

講師 岡山大学落語研究会

一月二十七日(日)

☆「阿弥陀経を読む」

講師 惠亮院住職

二月十日(日)

☆「2月文化講座」

講師 高福寺住職

未定

☆「お彼岸を前に」

講師 惠亮院名譽住職

三月二日(土)

※どなたでも聴講可能です。(無料)
お問い合わせのうえ、ご参加ください。

編集後記

朝の冷え込みが厳しい季節になりました。この季節になると一年が過ぎるのがあっという間とよく耳にしますがあれって大人の方しか言わないですよ。

なんでかなあと思ってた編後記のお話にしてうかなと考えていたら、今回のひとくち法話の中でお話がされており、編集する最中に自分の今年の行いを改めて考えてみましたが、なかなか新しい事に挑戦できてないなと反省しました。諸行無常、同じ時間はもう二度とありません、今年も残りわずかですが、この時間も一回きりですので後悔しないように精進したいと思います。

新年の各種授与品は回廊にて！初詣の際はお立ち寄りください。

第十九回上寺山両詣りライトアップ

豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年と来る年に願いを込めて、神と仏にお詣りができ、両方のおかげをいただけることから「両詣り」と名付けているいろいろな行事を実施しています。

餘慶寺では古いお札のお焚き上げ、除夜の鐘撞き、八角堂での楊漕頂（お清め）、薬師堂での護摩祈禱などがつとめられます。特に新年が厄年に当たる方や、本命星が厄運の方は、護摩祈禱での厄除けや方位除けをおすすめいたします。

また、今年もカウントダウンイベントとして願い事を書いた白い風船を夜空へ飛ばします。あたたかい無料接待やフリーマーケットの年越しそばなども用意し、皆様のお詣りをお待ちしております。詳しくは、配布しておりますチラシをご覧ください。

年末年始、上寺山へ是非ともお詣りください。

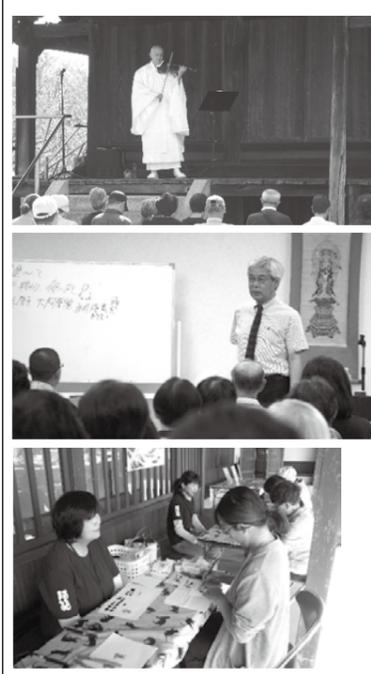


餘慶寺寺宝展のご報告

平成三十年十月十四日(日)、第十六回目の餘慶寺寺宝展が開催されました。当日は天気も良く、修復された十王像をはじめとする多くの寺宝を一目見ようと多くの参拝客が訪れました。

当日は境内にて大原英揮氏によるヴァイオリンの奉納ミニコンサートや己書の無料体験コーナー、また特別講演会として倉敷芸術科学大学学長補佐の濱家輝雄氏による講演会もあり、多くの方が聴講にいられていました。

また、今城コミュニティによる各種出店や寺庭婦人による「もみじカフェ」なども行われ参拝いただいた方にご利用いただけたかと思えます。末筆になりますが、開催にご尽力いただきました方々に改めて御礼申し上げます。



薬師堂からのお知らせ

薬師堂の護摩祈禱

十二月三十一日(月) 二十一時～翌二時半
一月一日(火)～三日(木) 九時～十六時

年末年始の両詣りの際に厳修します。

護摩祈禱では、皆様の煩惱を焼き浄め、厄災を消除します。厄除け・方位除け・家内安全などのご祈禱をいたします。お申し込みは納経所・山内各院へお願いします。

両詣りの際には、薬師堂にて受け付けております。

「方位除け」のおすすめ

「方位除け」は人が生まれながらに持っている本命星が、その年にどの方向に位置しているかで一年の吉凶を占うものです。

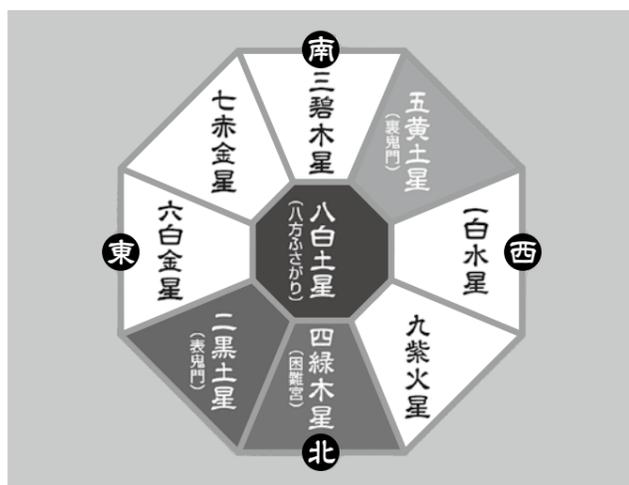
今回の両詣りからご祈禱をお受けいただけます。下図をご確認いただき、「八方ふさがり」「表鬼門」「困難宮」「裏鬼門」の年齢に当たる方は年回りが良くなるように注意しなければならぬため「方位除け」のご祈禱をおすすめします。

詳しくは、別紙「楊漕頂と護摩祈禱のご案内」ならびに「天台こよみ」をご覧ください。一年の平穩無事・運氣上昇をお祈りしましょう。

平成31年方位除け一覧表

中央(八方塞がり)	北東(表鬼門)	北(困難宮)	南西(裏鬼門)
八白土星	二黒土星	四緑木星	五黄土星
昭和4年生	昭和10年生	昭和8年生	昭和7年生
昭和13年生	昭和19年生	昭和17年生	昭和16年生
昭和22年生	昭和28年生	昭和26年生	昭和25年生
昭和31年生	昭和37年生	昭和35年生	昭和34年生
昭和40年生	昭和46年生	昭和44年生	昭和43年生
昭和49年生	昭和55年生	昭和53年生	昭和52年生
昭和58年生	平成元年生	昭和62年生	昭和61年生
平成4年生	平成10年生	平成8年生	平成7年生
平成13年生	平成19年生	平成17年生	平成16年生
平成22年生	平成28年生	平成26年生	平成25年生
平成31年生			

平成31年本命星方位図(方位除け)



平成31年厄年一覧表

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳 平成8年生	25歳 平成7年生	26歳 平成6年生	18歳 平成14年生	19歳 平成13年生	20歳 平成12年生
41歳 昭和54年生	42歳 昭和53年生	43歳 昭和52年生	32歳 昭和63年生	33歳 昭和62年生	34歳 昭和61年生
60歳 昭和35年生	61歳 昭和34年生	62歳 昭和33年生	36歳 昭和59年生	37歳 昭和58年生	38歳 昭和57年生
歳は男女とも数え歳です。厄除けのご祈禱をお申し込みください。			60歳 昭和35年生	61歳 昭和34年生	62歳 昭和33年生

古いお札、だるま、お守りをお焚き上げいたします。年末になりましたら本堂へお持ちください